



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

2010 年 4 月 27 日

「LT会」会報第 10-6 号 (総 56 号)

上海万博直前リハーサル 市民の感想

上海良図商務諮詢有限公司

5 月 1 日の開幕を間近に控えた上海万博は、今月 20 日から合計 6 日間のリハーサルを実施した。その結果、ここにきて様々な不具合が露わになった。

実際、上海万博はこれより前からマイナス面の話題に悩まされていた。不名誉な事で一番有名なのは、恐らくテーマソングの盗作疑惑問題だろう。「2010 年は君を待っている」は日本人歌手・岡本真夜の「そのままの君でいて」に酷似していると指摘されていたが、万博事務局は 4 月 18 日著作権に関して問題が発生している理由で PR ソングの使用をしばらく停止した。しかしその後更に、中国館の設計デザインとマスコットの海宝（ハイパオ）もそれぞれ日本の建築デザインとアメリカのあるキャラクターに類似しているとの指摘が出ている。但し、この二つの盗作問題に関しては、上海万博事務局は疑惑を否定している。

今回のリハーサルに参加する見学者は上海と近隣の省から選ばれた人達で、初日入場者数は限定 20 万人とし、その後だんだん増やしていった、最後は 40 万人を入場させた。公式開館期間の 1 日当たりの予想平均入場者数が 40 万人といわれているが、これに関しても又いろいろな問題がでてきた。

1. セキュリティチェック

万博会場の入口だけでなく、上海市の各地下鉄駅などでも随時安全検査を行っているが、リハーサル初日は予想入場者数の半分の 20 万人が訪れたが、その日の安全検査は一人平均 1 時間も待ってしまい、大渋滞を引き起こした。特に 6 番ゲートでは安全検査が中止されるなど大混乱の結果となってしまった。これを受けて早速上海万博事務局では検査要員を大幅に増員し、人海戦術でこれを乗り切り、リハーサル最終日には時間もかなり短縮されて、目立った混乱はなかったようだ。

2. 予約サービス

予約サービスを提供しているパビリオンや文化演芸イベントでは、来場者は当日予約をすることができ、だがリハーサル初日に、肝心の予約券発行機が半時間働いた後システムが崩壊し、混乱を起こした。その日は仕方なく、人手により予約券を配布することになった。その後は大きな問題もなく、例えば中国館は予約必須のパビリオンで、一日の参観者数は 5 万人に限定されているが、その予約は買い援護 1 時間以内に終了できるようになったということだ。

3. 食事

園内のレストランと飲物販売店は参観者のニーズに全く対応できていないということだ。午前 11 時には昼食の行列が並び始め、12 時に弁当を買うためには、2 時間ぐらい待たなければならなかったようだ。コンビニも昼食前の時間にはほとんど商品が残っていなかったようだ。正式に開幕したら、もっと多くの食品の準備が必要だろう。

4. 行列時間



LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

リハーサル期間中でも、参観者の長い行列が園内いたるところで見られた。セキュリティチェックも、パビリオンに入場も、食事も、トイレも、どこも人でいっぱいだった。特に、イギリス館、ドイツ館、イタリア館などの人気パビリオンの中には、混雑の為一度閉館もあった。日本館もリハーサル初日に、少なくとも2時間も待たなければならないほど人気を集めた。リハーサル期間中、一部のパビリオンは工事がまだ終わっておらず、オープンしていなかったのも他のパビリオンの待ち時間が長くなった原因だったろう。開幕日までには、各パビリオンが次々に完成し、混雑も緩和されると予想される。

5. 交通

万博会場への交通は、バス、地下鉄、船などが整備されている。バスの発着は頻繁だが、見学者が多すぎるために、万博事務局では最寄の駅から徒歩を勧めている。

開園時刻は午前9時からのため、平日に見学しようとするれば、ちょうど通勤ラッシュに出あうことになる。できるだけ8時から10時の時間帯を避けるべきだという意見もあるが、そうすると、中国館などの予約に間に合わないことになる。

6. ボランティア

万博会場内のボランティアは、ここかしこに準備不足がみられた。各パビリオンの場所や開館時間、予約状況等に関する質問に答えられないことが多かったようだ。リハーサルでの経験を踏まえて、準備と訓練を強化しなければならないだろう。

7. マナーの悪さ露呈

万博会場内の移動バスがあるが、そのバスに乗り込むため、通勤バス並みのマナーが悪かった。

今回のリハーサル参加者の感想：

1. 会場内に持ち込める品物

(1) 食べ物

会場で食べ物を買うのは大変なので、持ち込んだ方がよい。但し、飲み物は持ち込み禁止。

(2) 空ボトルなどの容器

会場は飲み物の持ち込み禁止だが、各所に水飲場が設置されている。売店で飲み物を買うのも大変なので、空のボトルを持って行って、水飲場で水を汲むようにするのが一番いいだろう。

(3) 歩きやすい靴

広大な会場内の主要移動手段は徒歩であるため、歩きやすい靴でかけるようにしよう。

2. 持ち込み禁止物品

万博事務局からの「見学上の注意事項」には、「携帯禁止品」の条項があるが、それ以外にも持ち込まない方が無難な品物がある。

(1) 全てのナイフ・小刀類

通常は携帯が禁止されていない小型のナイフも持ち込みが禁止されている。

(2) 化粧品

化粧品はセキュリティチェックの時、厳しく検査される。時間もかかり、実際に使ってみせることも要求される可能性がある。



LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

(3) 長い傘

折りたたみ傘式のみ持ち込み可能で、長い傘は危険物になるため持込禁止リストになっている。

3. 見学の準備

万博会場は広くて、それぞれのパビリオンもかなり離れて建っている。人気パビリオンは予約サービスがあるので、なるべく予約を利用するのが良い。また出かける前に、入場口やパビリオン及び予約券発行機の場所を確認しておくとし便利。

また予約に関しては、中国館が全期間予約を実施する他、会場内のその他のパビリオンや文化園芸活動も一部現地予約を実施することがある。予約していない人は並ばなければならない。中国館と5つのテーマパビリオンは総合予約制を実施し、個人入場券を持っている参観者は会場内の22箇所の総合予約受付に設置されている176台の予約券発行機で当日予約を行う。その他のパビリオンと文化園芸活動の場所は単独予約を実施し、そのパビリオン又はイベント会場に予約券発行機が設置されており、参観者は当日そのパビリオンやイベント会場で予約サービスを受けることができる。一日の予約受付数に限りがあるため、参観者は“総合予約1つ、単独予約5つ”まですることができる。つまり、中国館と5つのテーマパビリオンは、参観者は一回の入園につき、6つのうちの一つだけ予約することが可能である。また、その他のパビリオンや文化演芸イベントは、一回の入場につき、当日参観希望パビリオンと文化演芸イベント最大5つ予約することができる。

万博裏話

1. 警備

中国政府は万博期間中の緊急事態に備え、武装警察十万人を動員して会場周辺の警備に当たっている。すでに一部は市内の地下鉄駅等交通の要所等で実働を始めている。他にも一部地方公務員を動員し、ボランティアとして、地下鉄駅構内等の警備に当たらせている。

更に、万一の有事に備え、万博会場周辺の高層マンションの最上階住民には毎月2万円の補償金を支払い、万博期間中強制的に引っ越しさせている。

2. 地域政府の費用負担

今回万博の総予算は284億元となっているが、リーマンショックによる不景気のあおりで、特にアフリカ各国に財政難の国が続出したが、参加辞退を食い止めようと、上海市政府は一部の国のパビリオン建設費用を負担したようだ。また、万博開催区域である黄浦区に対し、何と150億元もの費用を負担させたということだ。

3. チケット強制購入

上海政府は入場者7000万人の目標は何とか達成させたく、国営企業の従業員にチケット購入を割り当て、チケット代金は給与天引きするという荒業を使った。

以上